

平成 21 年 7 月 29 日

各 位

上場会社名 株式会社アールテック・ウエノ
(コード番号：4573 大証ヘラクレス)
本社所在地 東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 7 号
代 表 者代表取締役社長 真島 行彦
問 合 せ 先 ビジネスマネジメント部 中村 宏司
電 話 番 号 03 (3596) 8011

RU-10 の第 1 相臨床試験の途中終了について

株式会社アールテック・ウエノ（本社：東京都千代田区、社長：真島 行彦、以下「アールテック・ウエノ」）は遺伝子組換え人血清アルブミンを有効成分とするドライアイ治療用点眼液（開発コード：RU-10）の日本における第 1 相臨床試験の途中終了を決定しましたのでお知らせいたします。

当社は、平成 20 年 6 月 4 日に田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪府中央区：社長：土屋裕弘、以下「田辺三菱製薬」）と締結したライセンス契約に基づき、田辺三菱製薬から遺伝子組換え人血清アルブミンの供給を受けておりました。

当社は、田辺三菱製薬から、RU-10 の臨床試験用治験薬原料と同成分同含量である「メドウェイ注 25%」の自主回収（*平成 21 年 3 月 24 日付田辺三菱製薬プレスリリース）の報告を受けた後、第 1 相臨床試験を中断いたしました。その後、田辺三菱製薬は、当社に供給していた RU-10 の臨床試験用治験薬原料についても、当社から回収を行っております。以降、当社は同社からの臨床試験用治験薬原料の供給再開について注視しておりましたが、第 1 相臨床試験の中断後 4 ヶ月が経過し、なお供給再開の目処が立たず、中断期間が長くなることも想定されることから、当社といたしましては第 1 相臨床試験を一旦終了し、既に実施した試験成績をまとめることを決定致しました。

・RU-10 について

RU-10 は血清中の成分であるアルブミンに着目し、ドライアイなどの角膜上皮障害への治療のための点眼薬の開発を目的とするプロジェクトです。ドライアイは、涙液層や眼表面の障害を特徴とする慢性で多因性の眼疾患であり、当社では、結膜上皮細胞を用いた実験において、血清アルブミンが、涙液成分の一つであるムチンの産生を増強することを確認し、アルブミンによるドライアイ治療に関する知的財産権も所有しております。

・株式会社アールテック・ウエノについて

株式会社アールテック・ウエノは 1989 年 9 月、医薬品の製造販売、研究開発を目的に設立された製薬ベンチャー企業です。医学博士でもある社長のもと「Physician-Oriented New Drug Innovation」（臨床医による新薬開発）をテーマとし、これまで有効な治療薬のない眼科・皮膚科疾患をターゲットに新薬の開発を行っております。

当社の主力製品であるレスキュラ®点眼液 0.12%は、創業者の上野隆司博士が 1980 年代に発見した「プロストン」を世界で初めて活用した緑内障・高眼圧症の治療薬として 1994 年より日本において発売されています。

レスキュラ®点眼液 0.12%は、眼局所及び全身性の副作用が少なく、1 日 2 回の投与で安定した眼圧下降作用をもたらす、視神経保護作用と眼血流増加の作用メカニズムによりすぐれた治療効果を発揮します。

当社は2009年4月レスキュラ®（イソプロピルウノプロストン）について『Sucampo Pharma Americas 社』と米国およびカナダにおける緑内障及び高眼圧症の販売承認及び販売権の譲渡、関連特許のライセンス、並びに同製品の独占的な製造供給についての契約を締結しています。

以上